

きらめき

立山町立釜ヶ淵小学校

5年 学年だより

R3. 6月号

これまでの自分を見直し、再出発！

GWが終わり、月曜日の朝。メダカの水槽を見ながら、騒いでいる子供たちの姿がありました。騒ぎの原因は、緑色に濁った水槽の水。中に泳いでいるメダカも見えないほどでした。そして、また1匹、メダカが死んでしまったようでした。これを受け、朝の会では、メダカの世話の仕方についてもう一度みんなで考えたいという声が上がりました。

そこで、生き物飼育係のこれまでの仕事の取り組みについて、みんなで聞くことにしました。生き物飼育係のSさんは、「4月にえさのことでメダカを死なせてしまった後からは、えさやりは一度も忘れずやっている。でも、水槽掃除はできていなくて、気付いた他の人がやってくれていた」と振り返りました。Sさんの言うように、生き物飼育係は、えさやり当番はしっかり決め、朝と帰りに忘れずがんばっていました。しかし、水槽の掃除当番については明確に決めておらず、水槽の汚れには気づきながらも、どう動き出せばよいか分からなかったようでした。

生き物飼育係の取り組みを聞き終わった後、「ちなみに他の係の人はどう？仕事はばっちり？」と聞いてみました。初めに発言した「運動を楽しもう係」のNさんやOさんは、自分が目当てに決めて、ポスターに書いたことはきちんとできていると自信をもって話しました。それを聞きながら、同じ係のHさんは掲示してある係のポスターをちらちら……。Oさんが話し終わると、私は違うという顔で、全力で首を横に振り、「私は、みんなが楽しめる遊びを考えるとという目当てを立てて、やろうとは思っているけれど、遊ぶ計画すら考えられていなかった」と話しました。すると、このHさんの発言をきっかけに、別の係の子供たちからも「自分たちの係もやると言いながらできていないことがある……」と、正直な声が次々と上がりました。

Hさんはこの話の後、次のように考えを振り返りました。

私は（係のポスターの）目当てにみんなが楽しめる遊びを考えると書いていて、やる気はあるけれど、計画すら立っていない状態になっていて、飼育係の人たちと似ているところがあるかなと思いました。他の係の人の話を聞いていたけど、他の係の人たちもできていないところがあると言っていて、飼育係の人だけがせめられる必要はないと思いました。そして、今までの私のやる気は40パーセントくらいだったと思っています。これからも同じ係でやっていけば目当てを達成できると思ったので、そのままの係で続けていけばよいと思いました。

Hさんは目当てに向かって進んで活動できずにいた自分を隠すことなく素直に受け止めていました。そんなHさんの姿を受け、周囲の子供たちも今までの自分を素直に振り返り見直すことができたのだと思いました。

この日を境に、どの係も、この時間に振り返ったことを実行しようと動き始めています。

どの係も実行中!!!



運動を楽しもう係は、朝の運動の時間に、クラスみんなで体を動かし遊ぶ日を毎週のように企画しています。人狼鬼ごっこ、ドッジボールと毎回遊びを変え、折り紙等で作った参加賞も毎回準備し、みんなが喜ぶよう工夫しています!

生き物飼育係は、水槽掃除のことについてよくわからなかったようで、タブレットを使って、水槽掃除の頻度について調べていました。そして、今後はもう忘れないようにと、掃除当番の日もしっかりと相談して決めていました。反省を生かそうと真剣な姿勢が感じられました。



このように、振り返って終わりではなく、振り返ったことを生かし、できていなかったことをしっかり実行していこうとする子供たちのパワーには驚きました。これからも子供たちのやる気を応援していきたいと思います。

さりげない行動から感じるもの

最近、Tさんのさりげない行動から、Tさんのまっすぐな心を感じます。

○下級生の行為に対して

これは、「Tさんがとても素敵だったから、ぜひ伝えたい」と、ある先生が教えてくださった話です。ある日の休み時間、下級生がロケット飛ばしをして遊んでいました。途中、ロケット飛ばしが白熱し、投げたロケットが掲示物に当たり、床に落下してしまいます。しかし、下級生は気にも留めず、ロケット飛ばしを続行。その光景をたまたま見ていたTさんは、その掲示物を拾うと、下級生に文句等言わず、さっと掲示物を直したそうです。本当なら、落としてしまった子供たちが直すのが一番なのですが、Tさんは自分が気付いたから直そうとしてくれたのだと思います。見ていた先生もTさんのさりげない行動に感心されたそうです。

○さつまいもがうまく育つように

なかよし班で育てるさつまいもの苗を植えたときのことで。異学年の交流は避けるため、今年度も苗は学年ごとに順番に植えました。5年生の植える順番は一番最後だったため、自分の苗を植え終わった後には、班員全員の苗の水やりも5年生が行いました。どの子供も水やりを終え、帰っていく中、Tさんは畝の前に一人夢中で、帰る様子がありません。Tさんは「これ、全然枕になってない」と言いながら、自分の植えた苗以外にも土で枕を作ってあげていました。みんなの苗がうまく育つようにと働きかけたTさんです。



Tさんのさりげない行動が、みんなのためになっています。